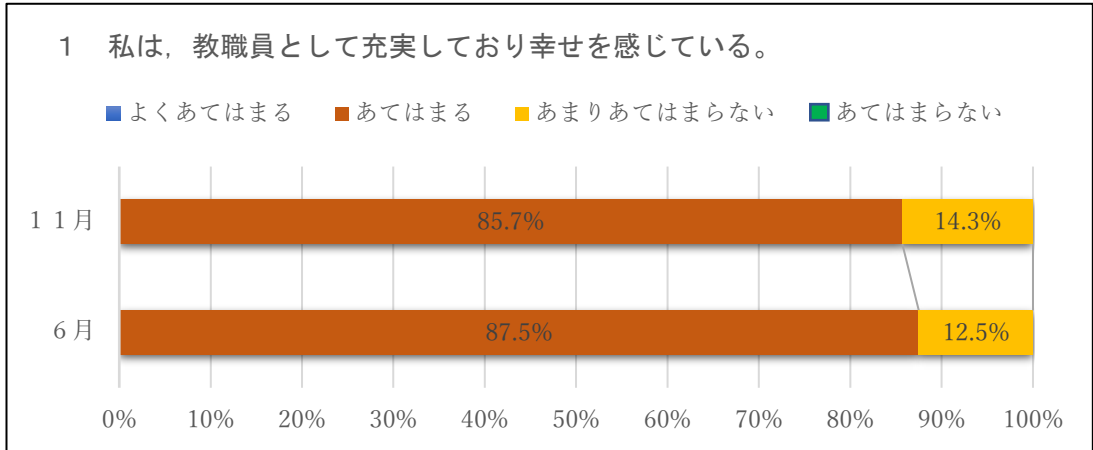


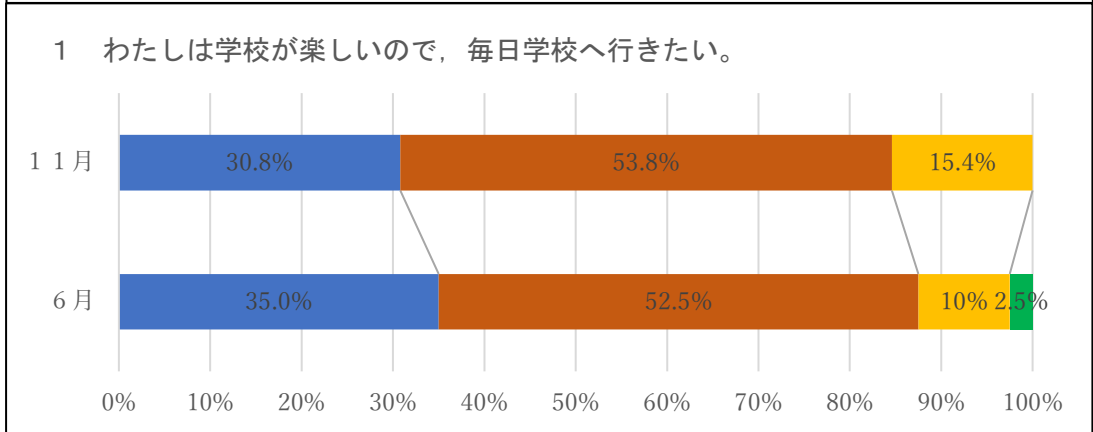
1 目指す姿

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	85.7%	84.6%	97.5%
否定的評価	14.3%	15.4%	2.5%

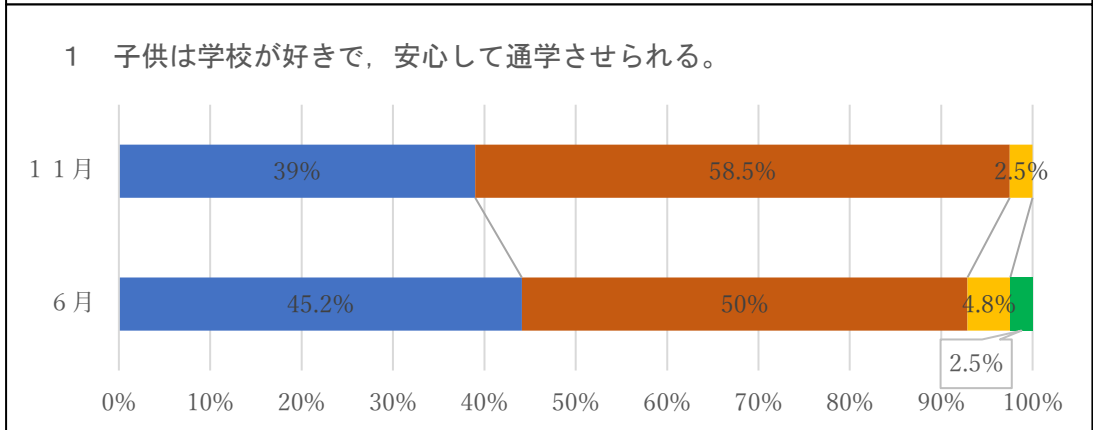
教職員



子供



保護者



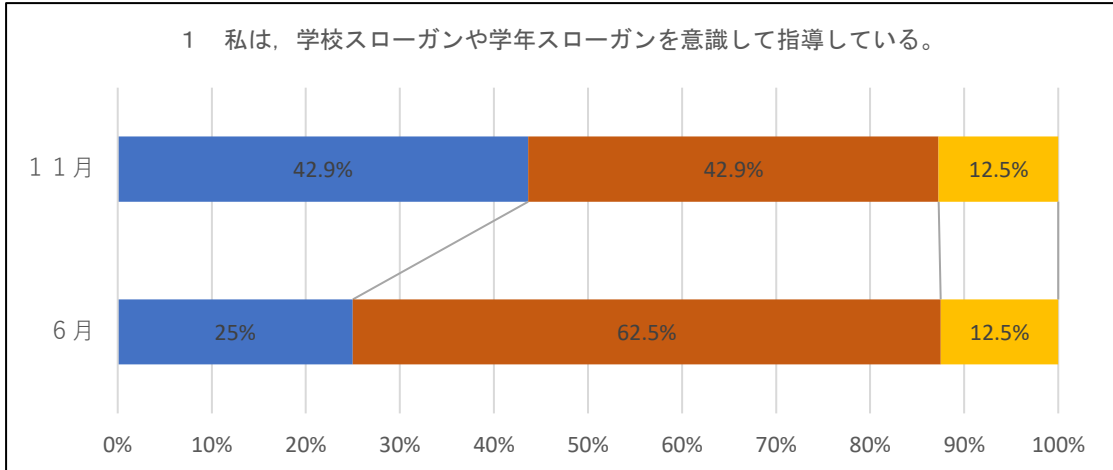
教職員、子供、保護者ともに、肯定的評価が80%を超えており、十分に満足できる結果です。教職員の自己評価も妥当性が高いといえます。特に、保護者の肯定的評価が90%を超えており、日頃の先生方の指導に感謝します。

また、子供、保護者の「当てはまらない」が0になっていることから、2学期の教育活動に対して、全体的に肯定的に評価していただいていると思います。ありがとうございます。

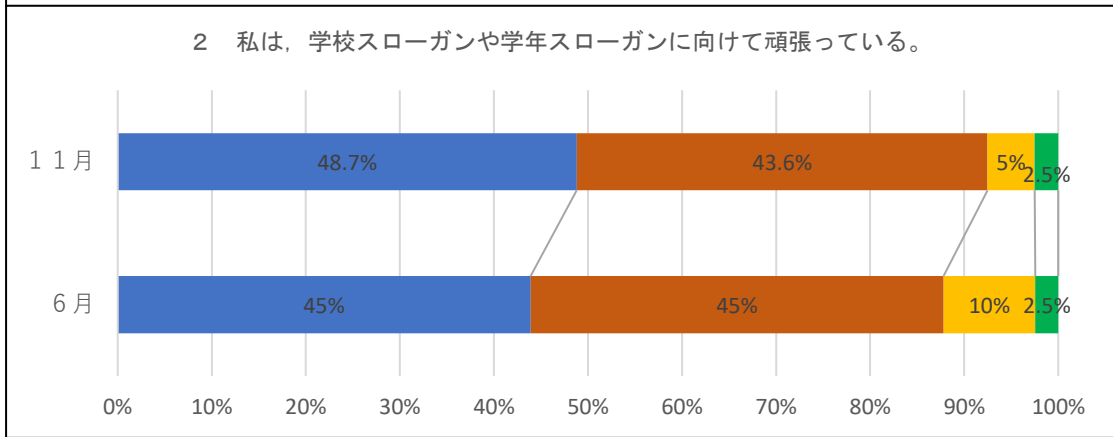
2 学校スローガン『感謝力 ～和の心を忘れるな～』や学年スローガンの取組

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	85.8%	92.1%	72.1%
否定的評価	15.2%	7.5%	27.9%

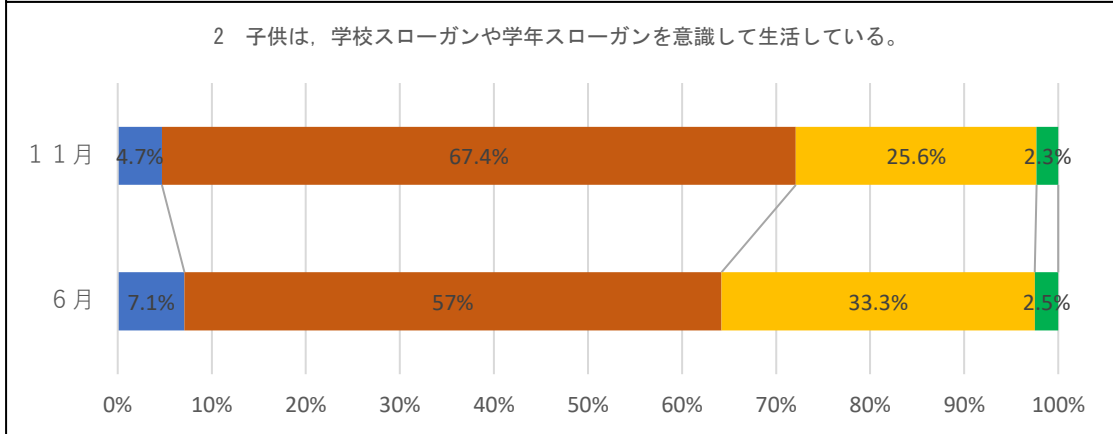
教職員



子供



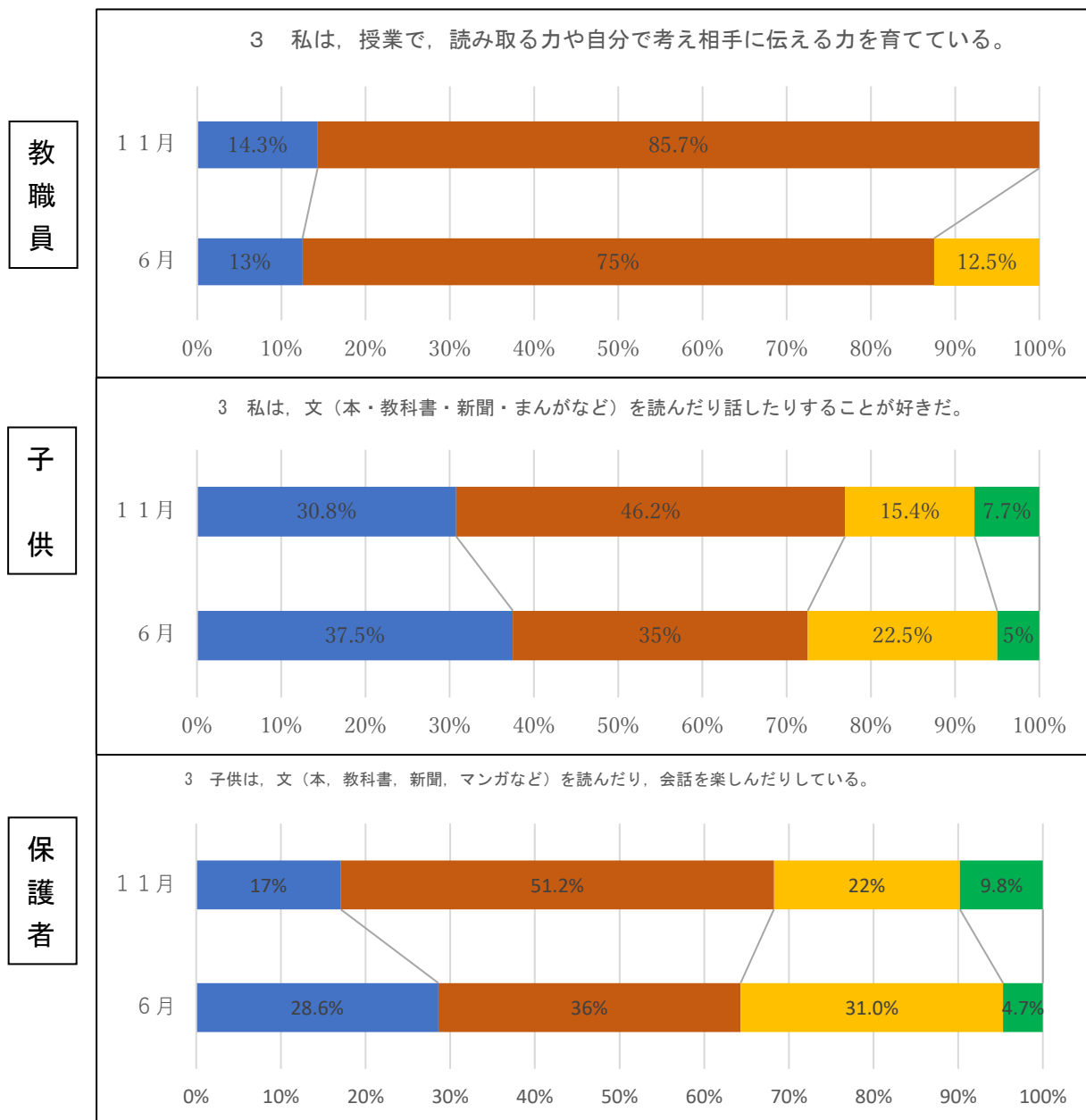
保護者



子供の肯定的評価が90%を超えており、学校スローガンや学年スローガンに対する意識の高まりが感じられます。一方で、保護者の肯定的評価の割合が増えているものの、依然として80%を下回っていることから、更に、学校だより等を通して、子供達の学習活動の様子を発信していきます。(第1回の課題 保護者の肯定的評価 64.2%→72.1%)

3 資質・能力を支える基盤づくり【読み取る力・考える力・伝える力】★

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	77%	68.2%
否定的評価	0%	23%	31.8%

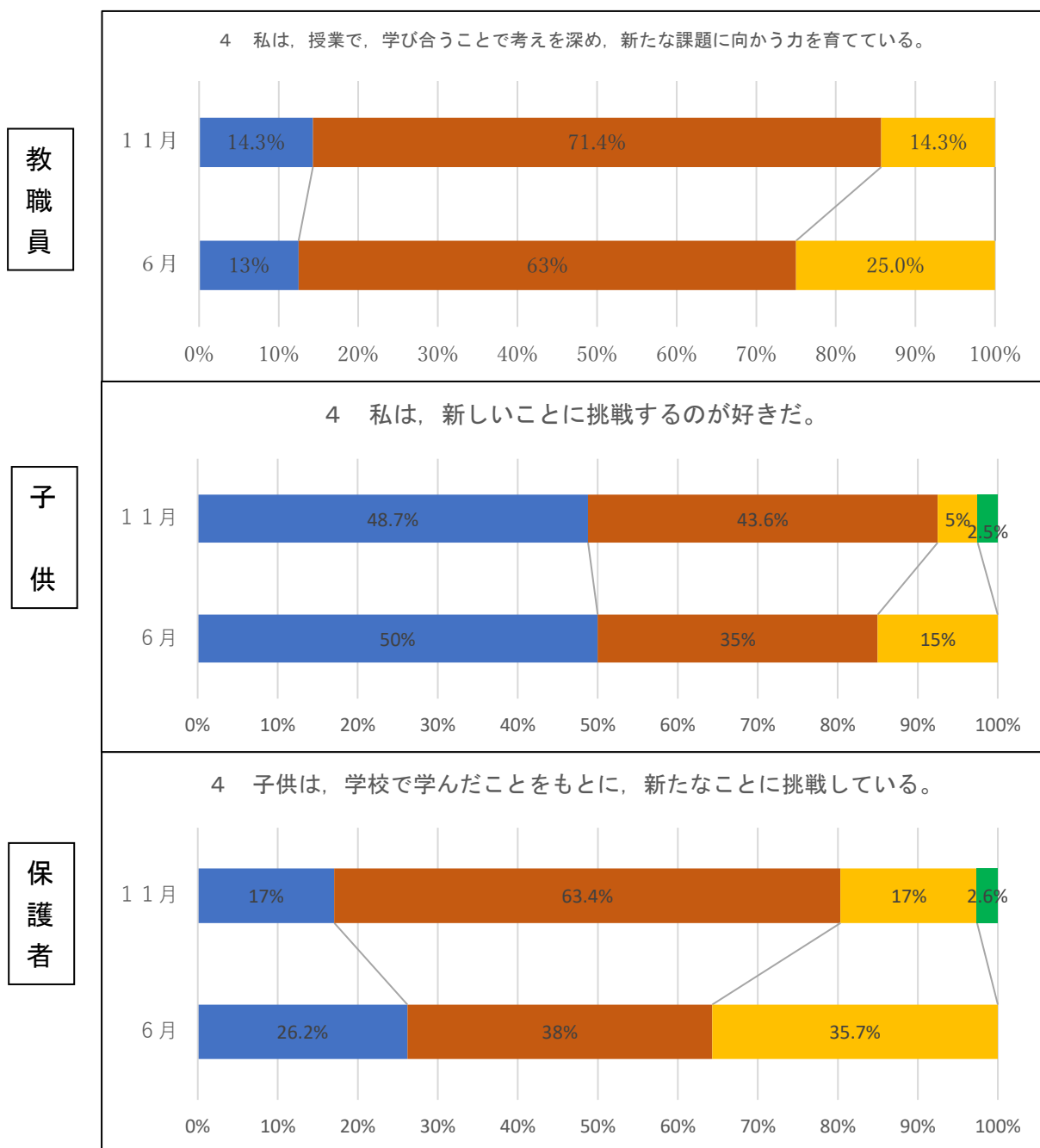


教職員、子供、保護者ともに、6月に比べ肯定的評価の割合が増えており、特に教職員は、100%になっているものの、子供、保護者は80%を下回っている。日頃の学習指導が結果に結びついていないことが原因の一つと考えられます。

授業で、更にじっくり考える場面や、発表、話し合いの場を意図的に設定していくことで、読み取る力、考える力、表現する力を身に付けられるようにしていきます。

4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	85.7%	92.3%	80.4%
否定的評価	14.3%	7.5%	19.6%

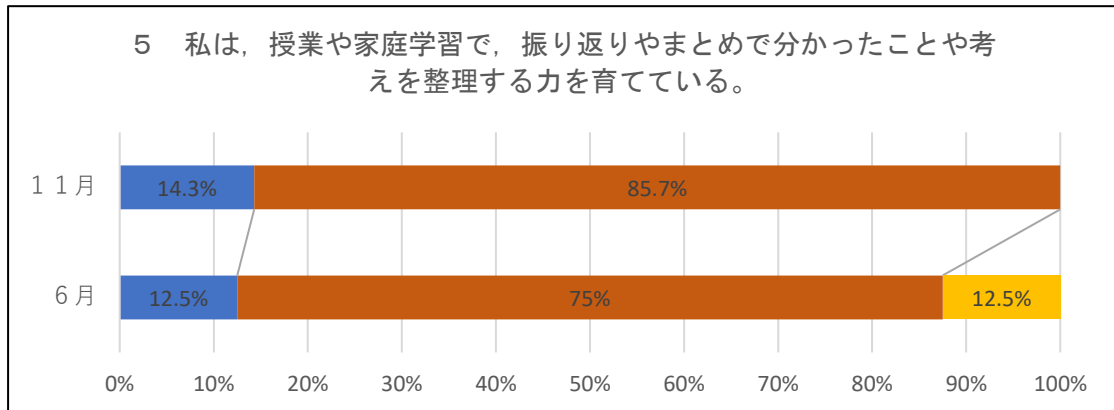


教職員、子供、保護者ともに、6月に比べ肯定的評価の割合が増えており、ともに80%を超えています。教職員の自己評価も妥当性が高いといえます。保護者の皆様のご理解に感謝するとともに、更に、教職員の授業改善の取り組みを継続していきます。

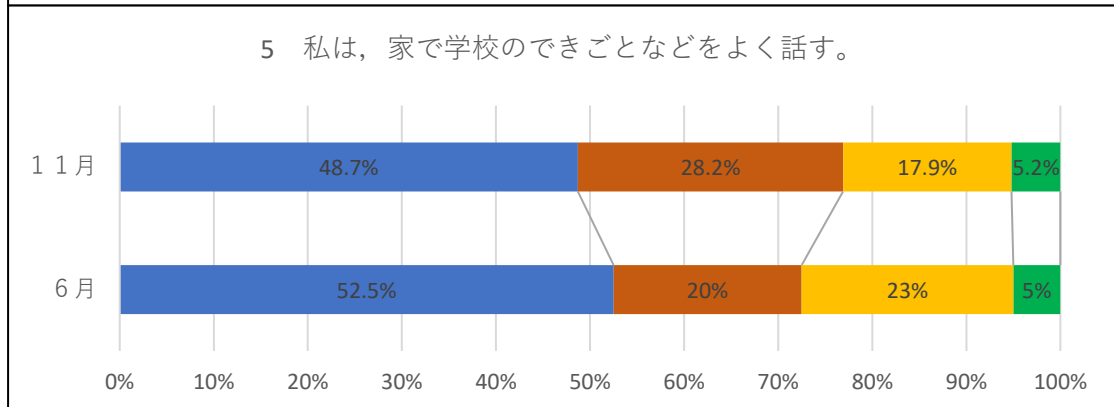
5 考えるための思考スキルの育成【振り返り・まとめ】

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	76.9%	90.3%
否定的評価	0%	23.1%	9.8%

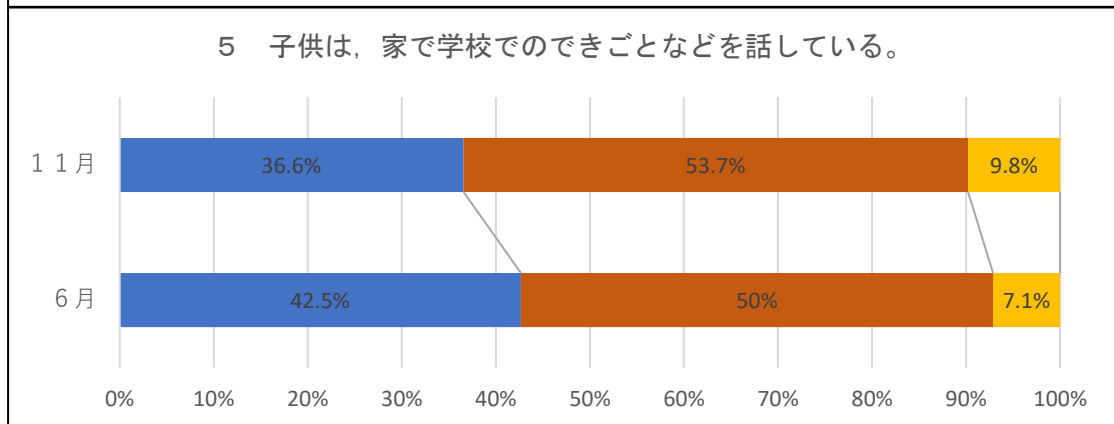
教職員



子供



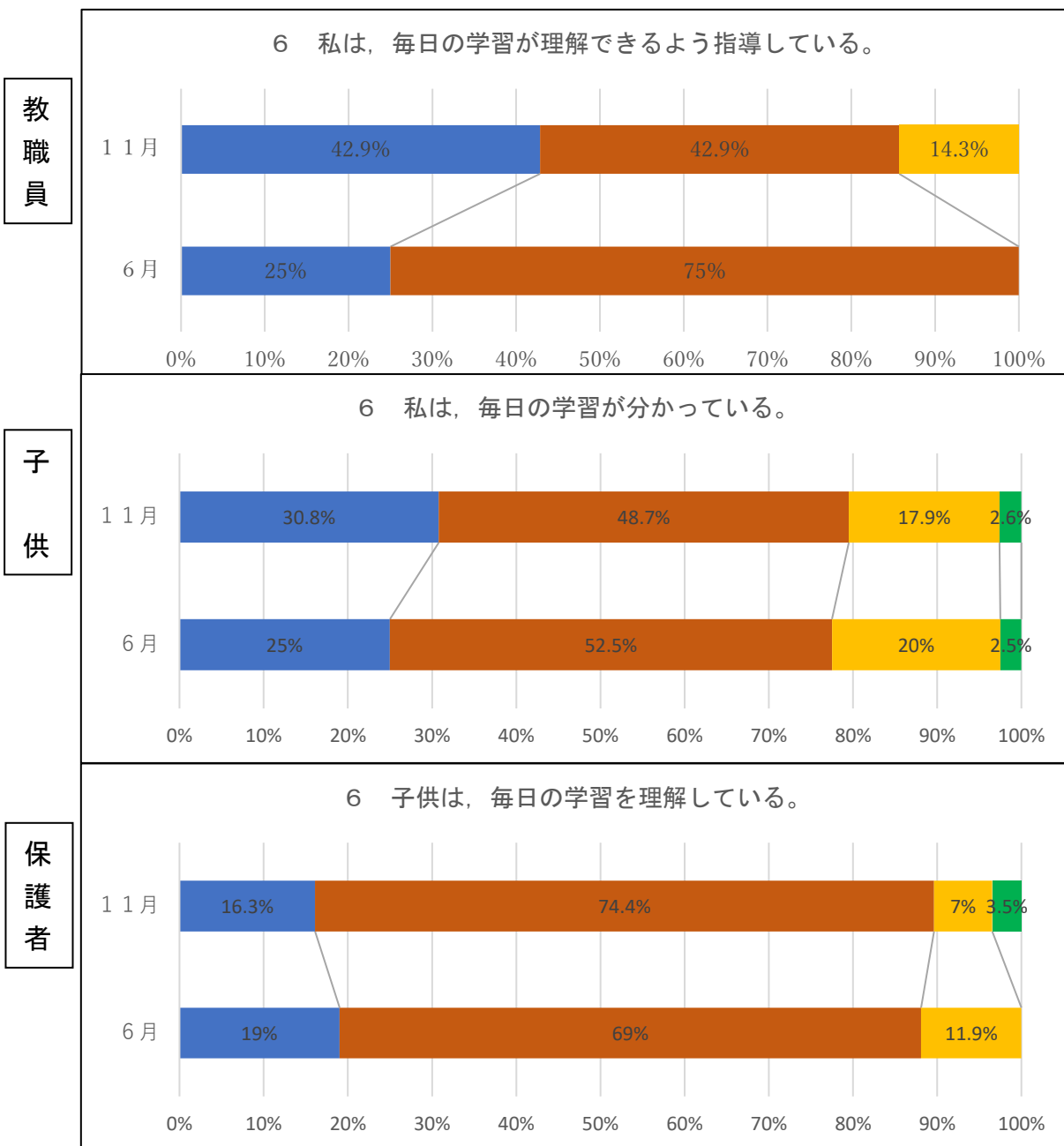
保護者



教職員の肯定的評価が100%であり、保護者の肯定的評価も90%を超えていることから、教職員の教育活動に理解を示していただいています。また、子供の肯定的評価の割合も、6月と比較すると増えていることから、今後も、授業や学校行事等でのまとめや振り返りの時間と機会を確保していきます。

6 分かる授業への改善

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	85.8%	79.5%	90.7%
否定的評価	14.3%	20.5%	10.5%



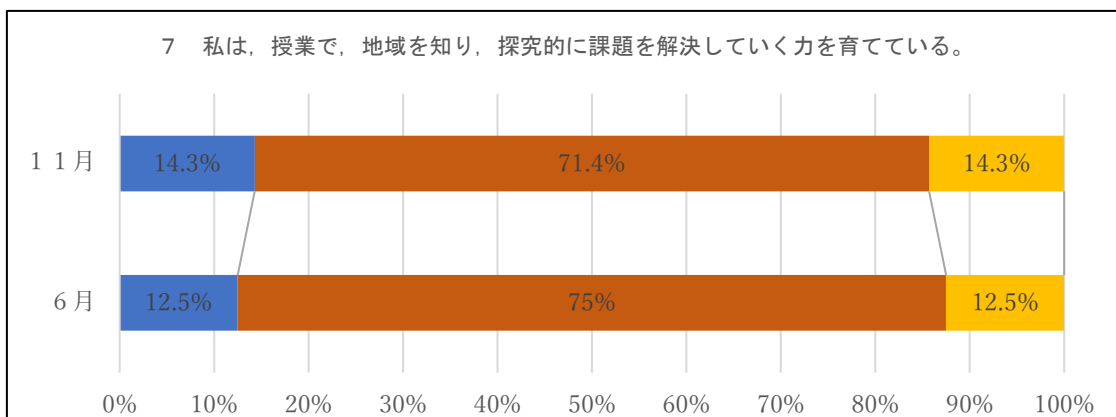
教職員の肯定的評価の割合は下がっているものの、子供及び保護者の肯定的評価の割合は上がっており、特に、保護者の肯定的評価は、ほぼ90%に達しています。

ここでも、保護者の理解を得られていると考えられることから、日頃の先生方の授業改善に向けた取り組みに感謝するとともに、今後も、更なる改善に努めていきます。

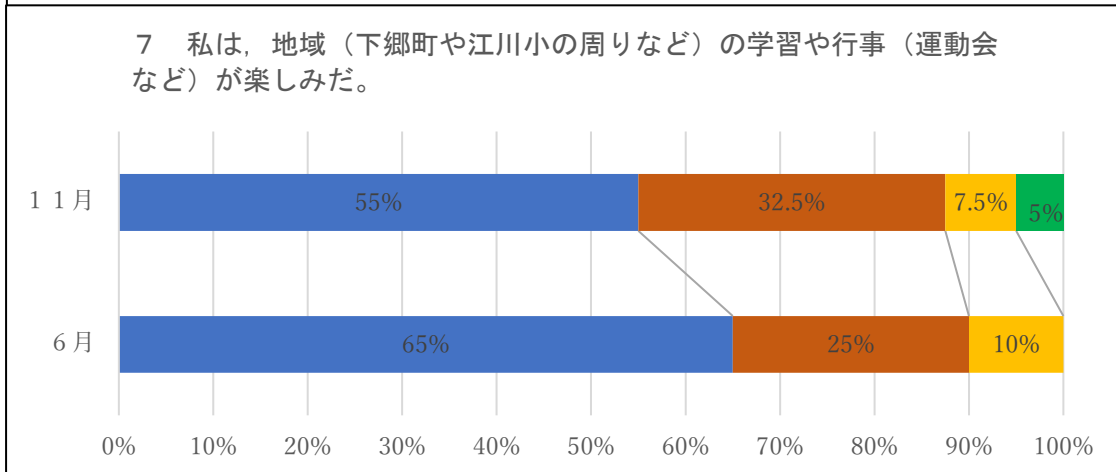
7 地域の想いをつなぐ起業家教育・体験活動の充実

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	85.7%	87.5%	85.5%
否定的評価	14.3%	12.5%	14.6%

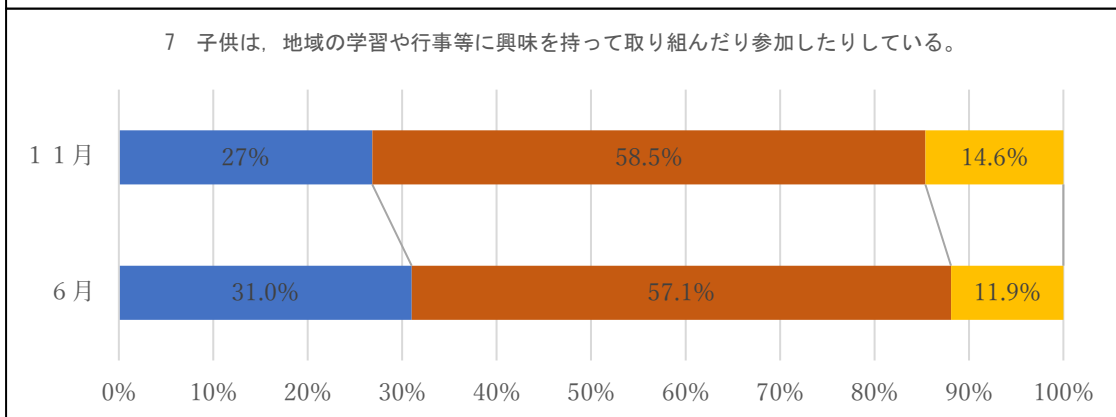
教職員



子供



保護者

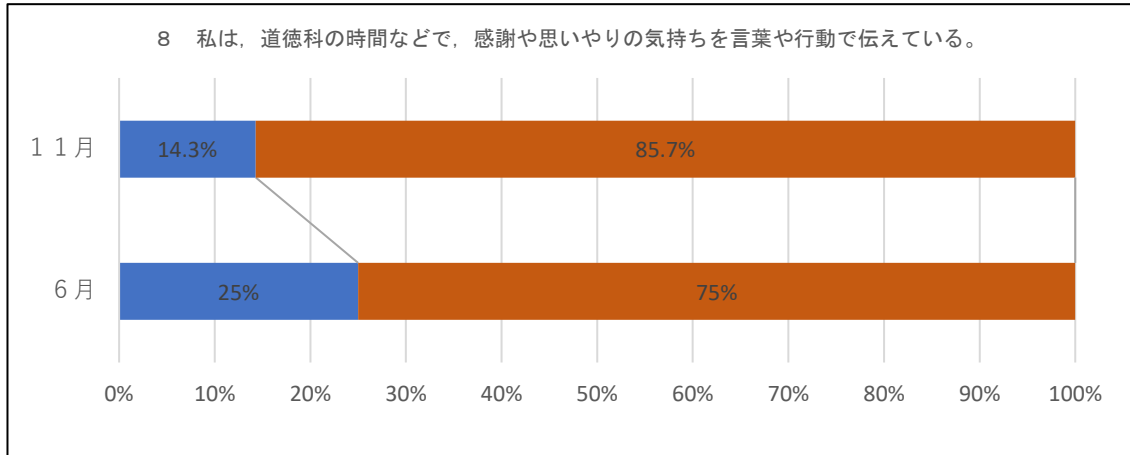


教職員、子供、保護者ともに、肯定的評価が80%を超えており、本校教育活動の特色である起業家教育や充実した体験活動に理解が得られていると思われます。一方で、教職員、子供、保護者の肯定的評価の割合が、それぞれ減少していることから、次年度に向けて、更に計画の改善を図り、年間を通して充実した活用になるようにしていきたいと思えます。

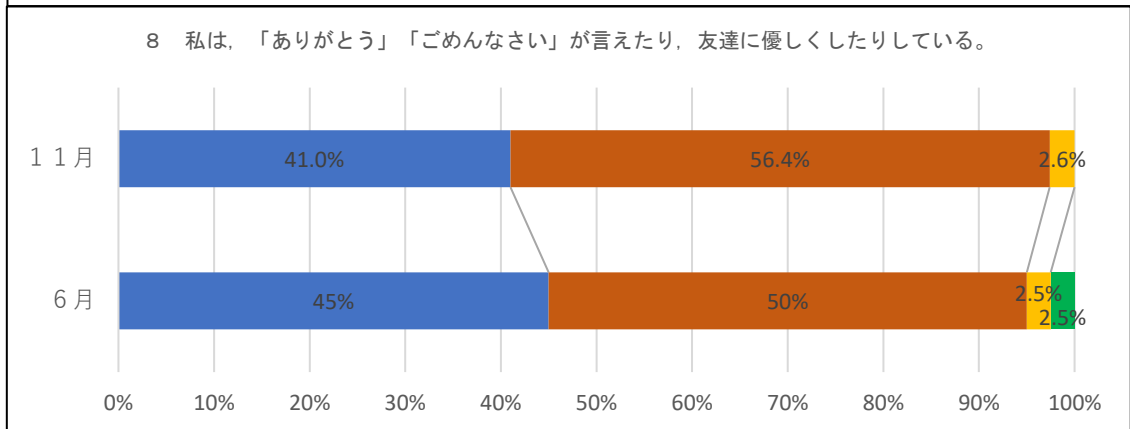
8 豊かな感性と思いやりの心を育む活動の推進

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	97.4%	88%
否定的評価	0%	2.6%	12.2%

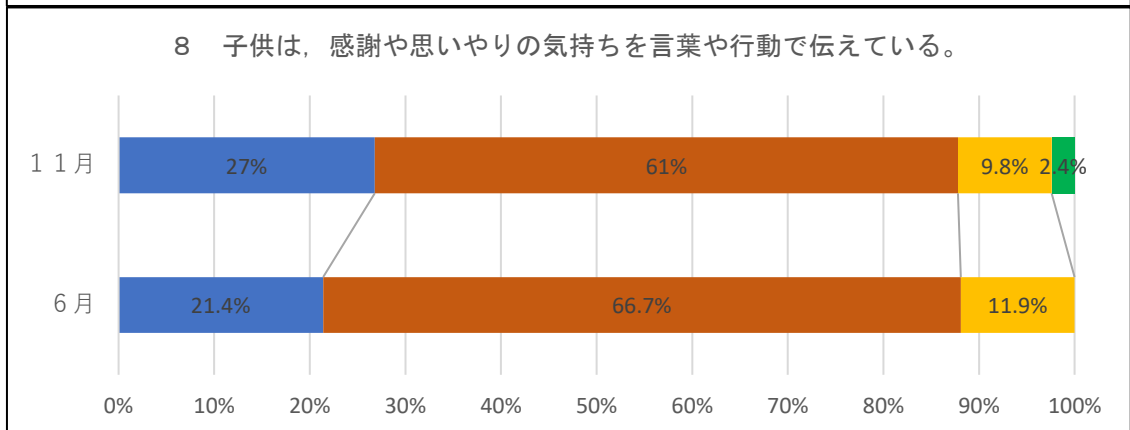
教職員



子供



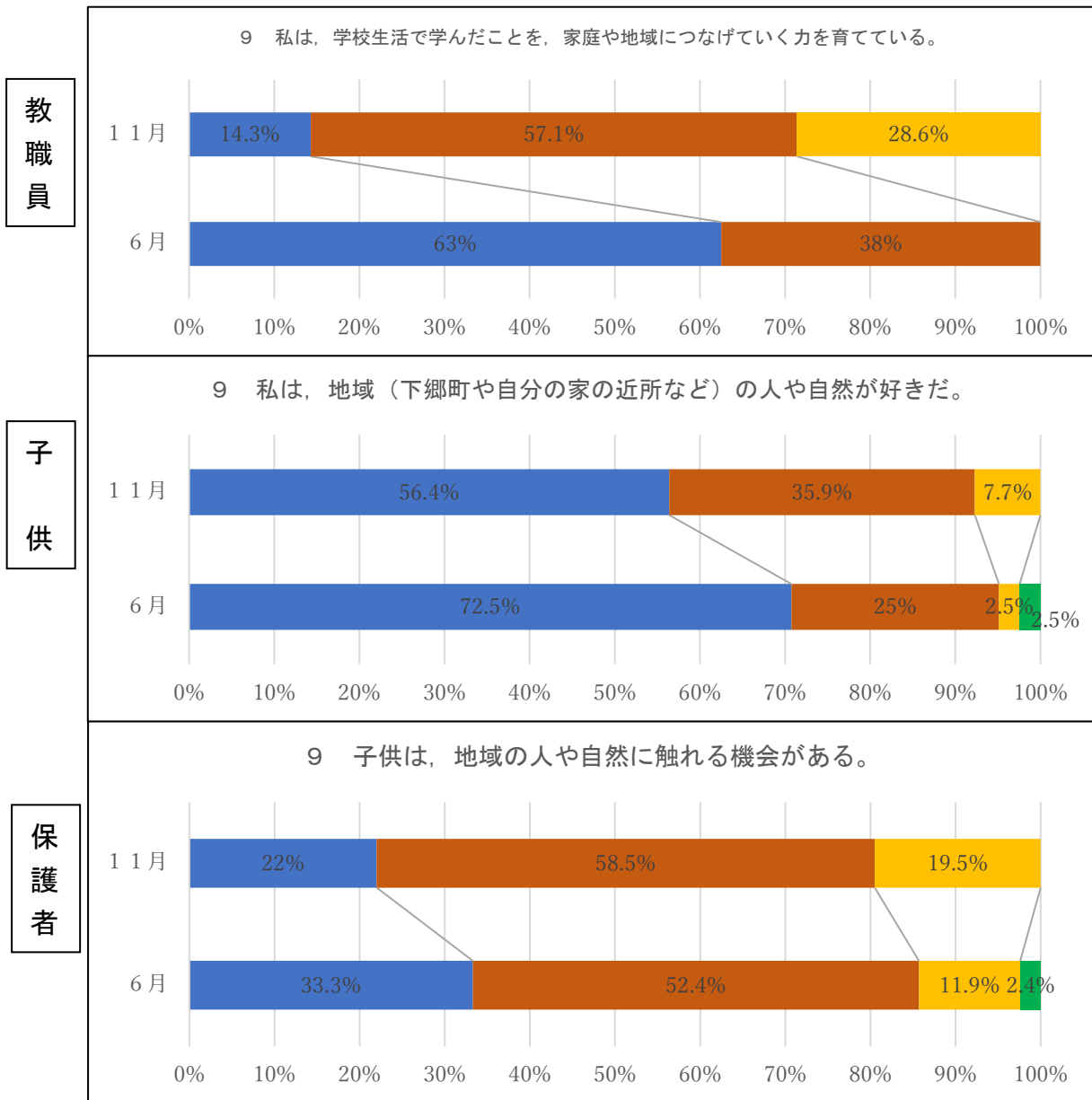
保護者



教職員は肯定的評価100%であり、子供は90%を超えています。保護者も、肯定的評価が90%近くあり、ともに高評価であることから、教職員の自己評価の妥当性も高いといえます。保護者の皆様のご理解と、日頃の教職員の取り組みに感謝します。

9 社会生活と関連付ける

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	71.4%	92.3%	80.5%
否定的評価	28.6%	7.7%	19.5%

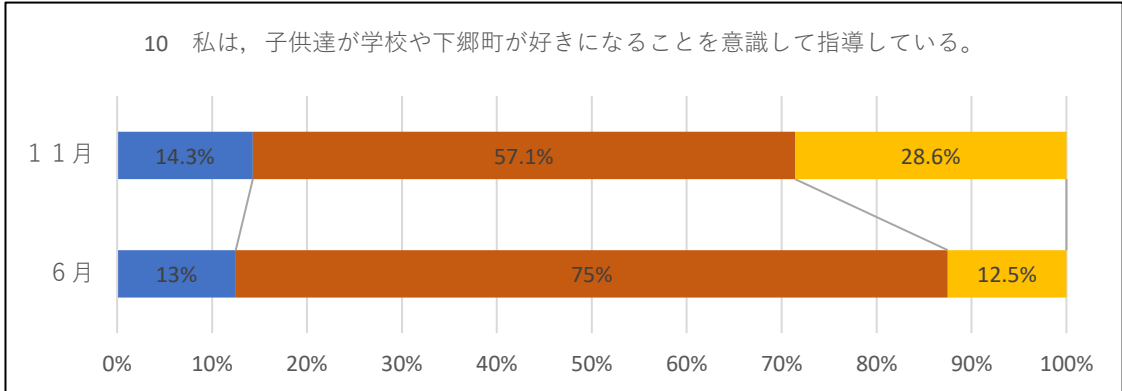


教職員の肯定的評価は70%台ですが、子供は90%を超えているとともに保護者も80%の肯定的評価である。教職員の肯定的評価が6月と比べて肯定的評価の割合が低下していることから、質問内容の検討も含め、子供が学校で学んだことを家庭や地域につなげている場面を捉え、教職員に伝えていくようにしていきます。

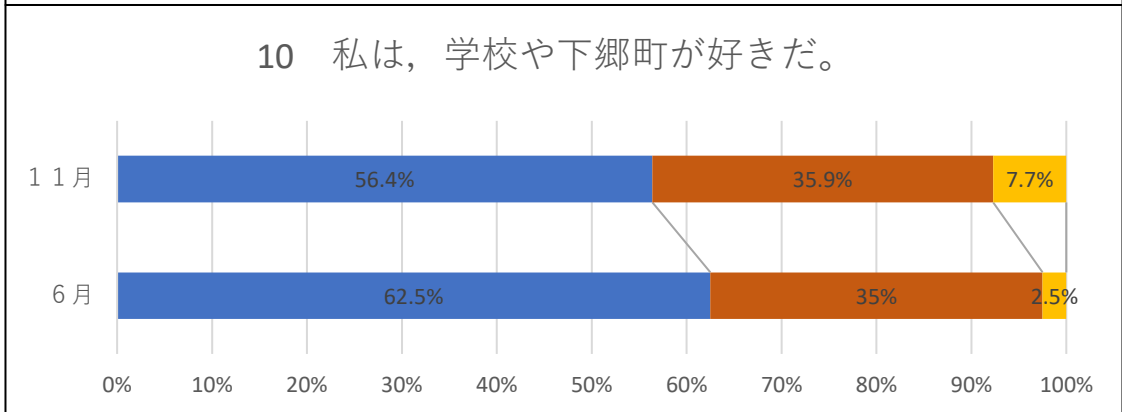
10 町や学校が好き

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	71.4%	92.3%	97.6%
否定的評価	28.6%	97.5%	2.4%

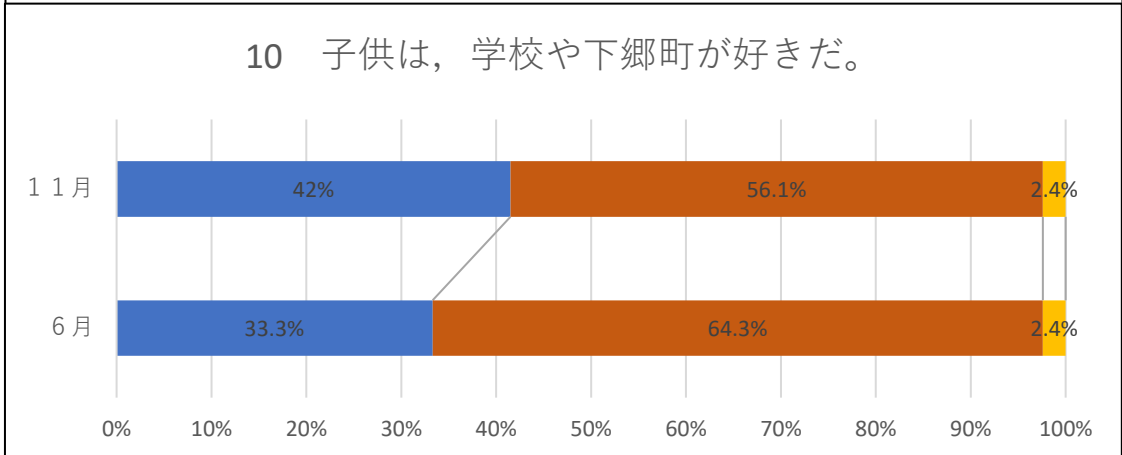
教職員



子供



保護者

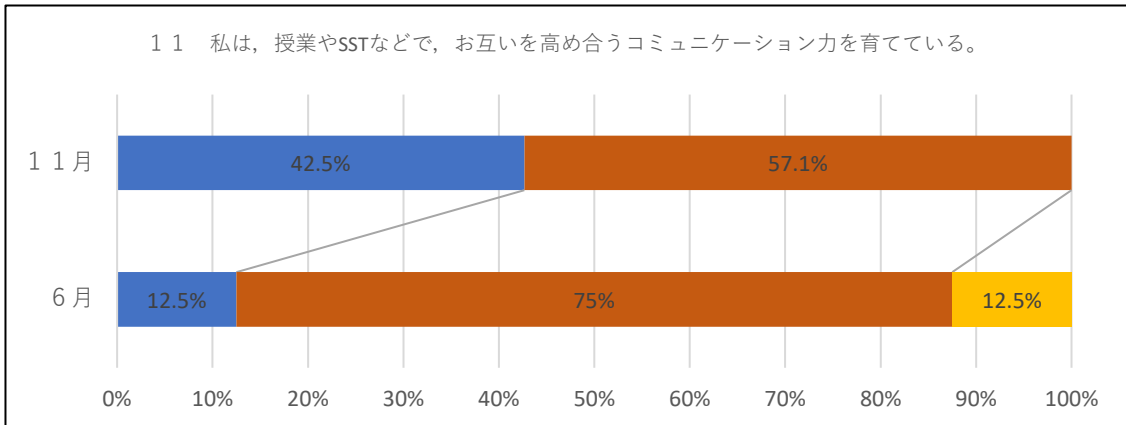


教職員の肯定的評価は70%台だが、子供、保護者ともに90%を超えています。2学期は、体験的な活動や江川っ子まつりなど学校を含めた地域との関わり合いをもたせた内容が多かったにもかかわらず、教職員の評価が低い状況でした。次年度の計画づくりの際にも、この結果を踏まえ、教育活動の質的改善に努めていきます。

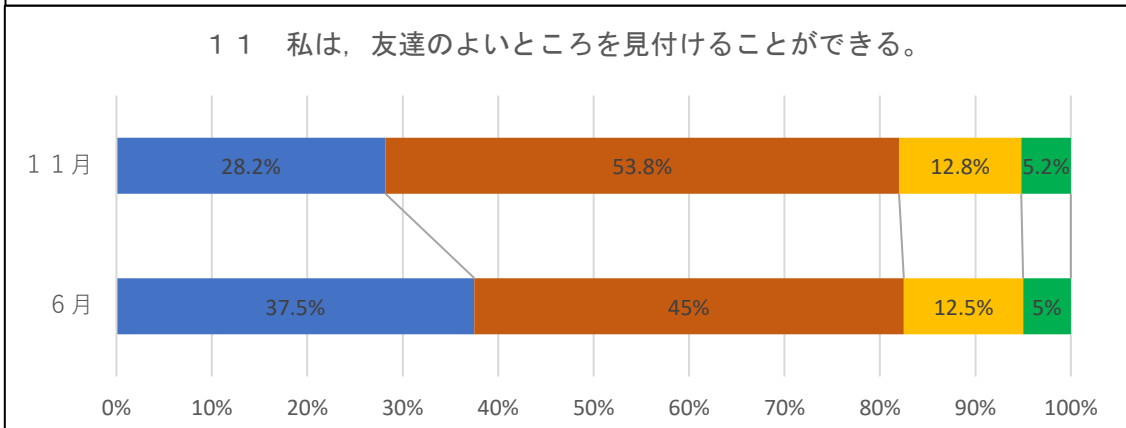
11 多様な個性を生かした協働活動

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	82%	95.1%
否定的評価	0%	18%	4.9%

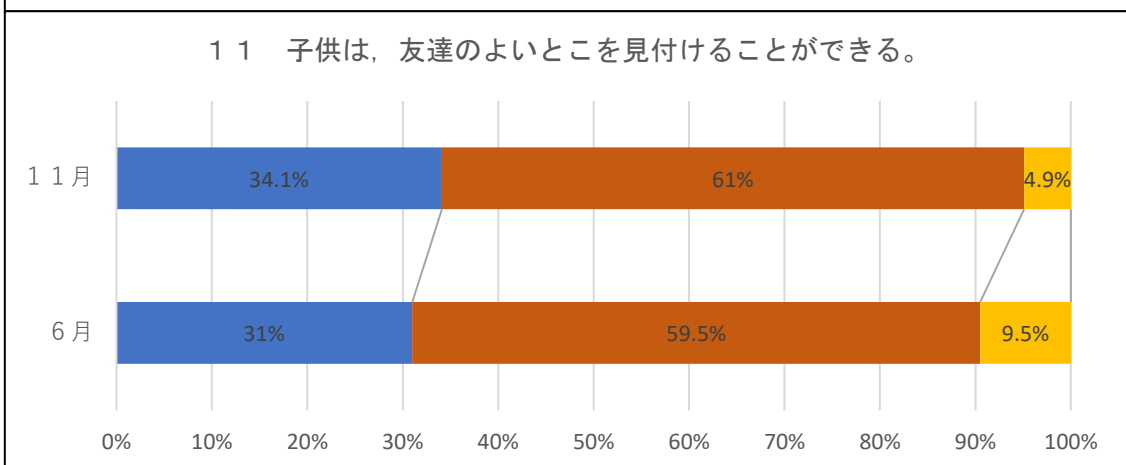
教職員



子供



保護者

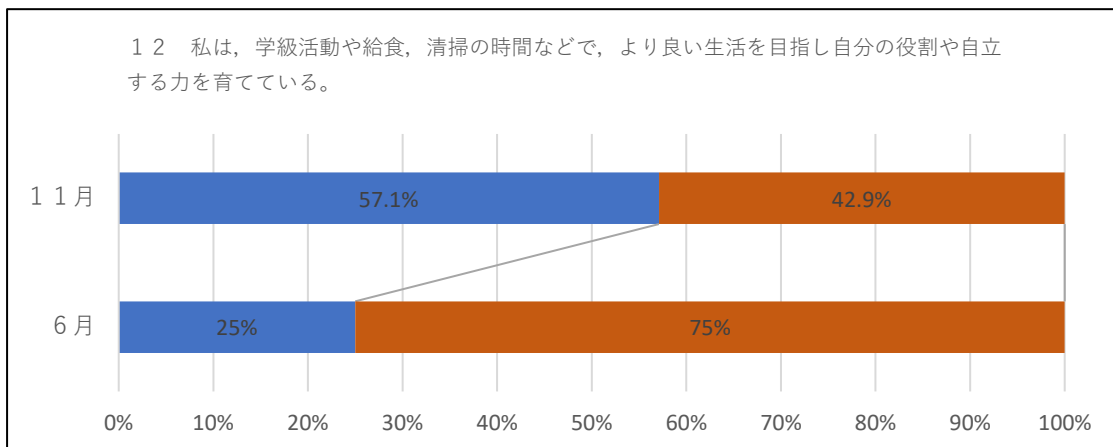


教職員、子供、保護者ともに肯定的評価が80%~100%と高評価です。しかし、この項目では、子供の評価について6月と11月を比較して、子供一人一人の個に即した分析が重要であり、6月の第1回学校評価で明らかとなった、子供の自己肯定感とも関連付けながら、今後の指導に生かしていきます。

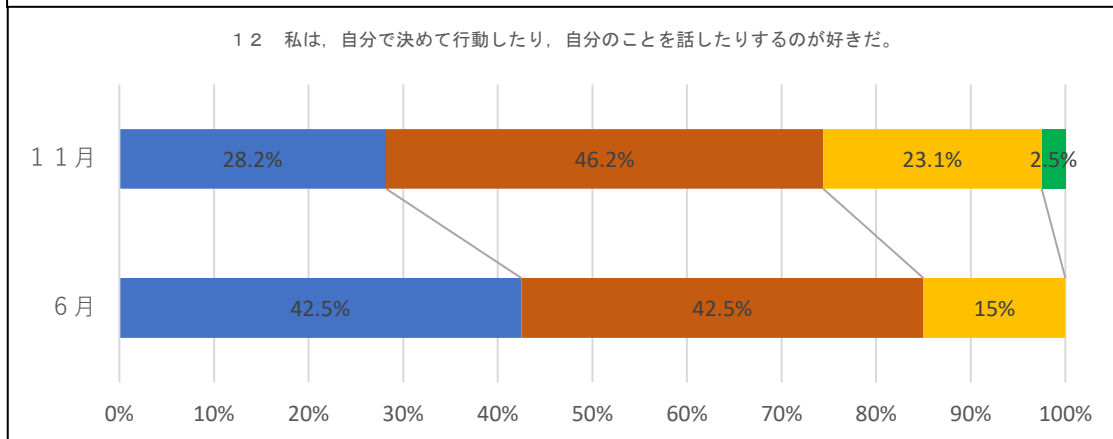
12 基本的な生活習慣の育成【自立】

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	74.4%	82.9%
否定的評価	0%	25.6%	17.1%

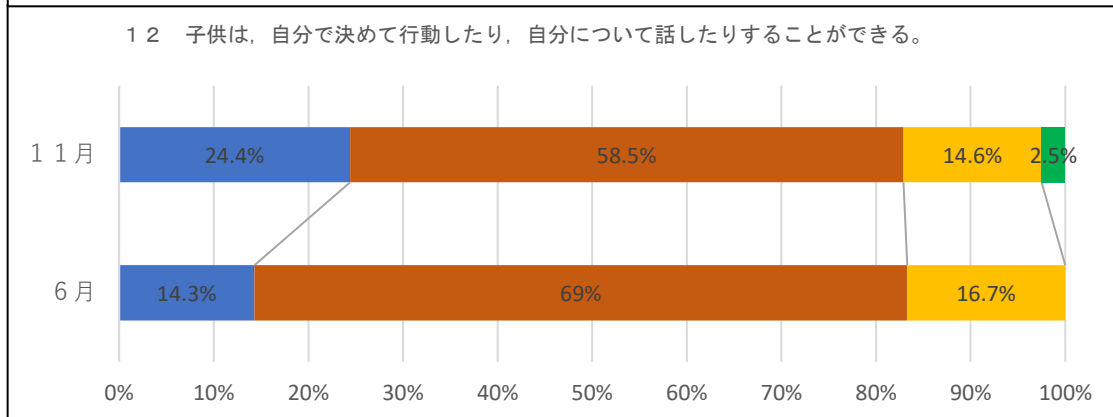
教職員



子供



保護者

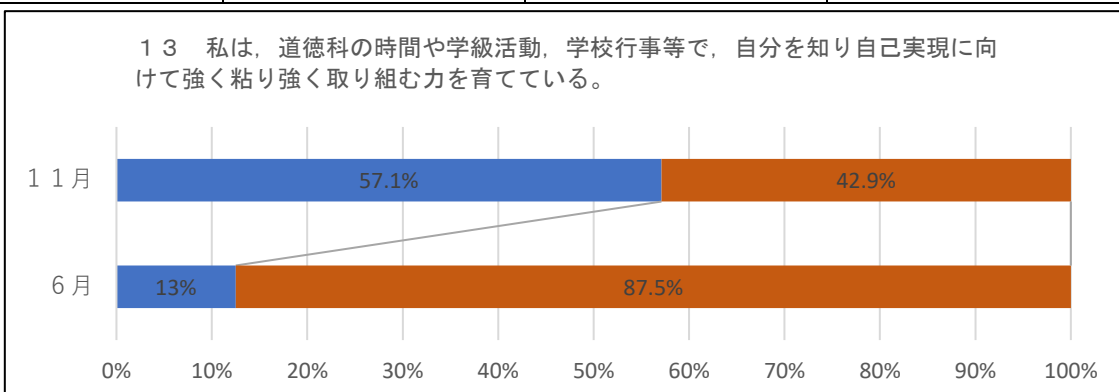


教職員の肯定的評価は100%であり、保護者も80%以上の肯定的評価をしていただいています。一方で、子供の肯定的評価が70%台であるとともに、6月からの低下が他の項目と比較しても大きいため、この項目についても、子供一人一人個に即した分析が必要であると考えられることから、ここでも子供の自己肯定感を高める指導と関連付けながら、取り組みを継続していきます。

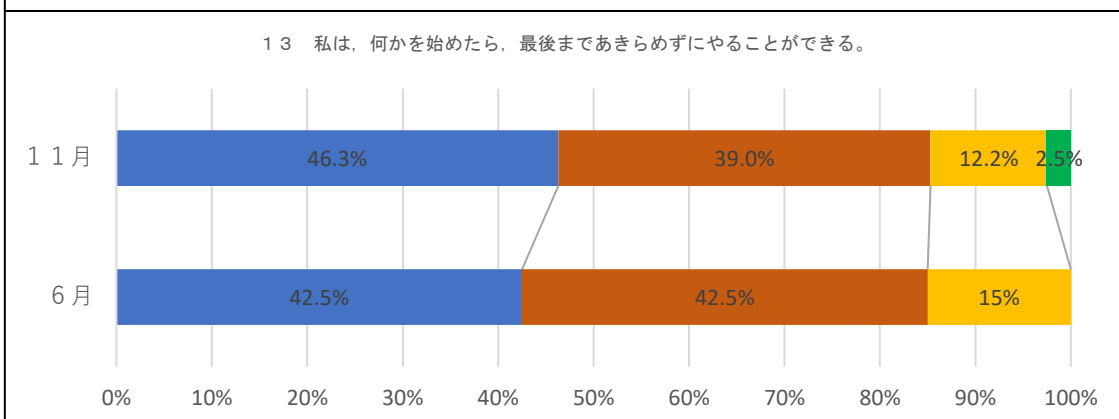
13 強くしなやかな心身の育成【自己実現】

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	82.9%	80.5%
否定的評価	0%	17.1%	19.5%

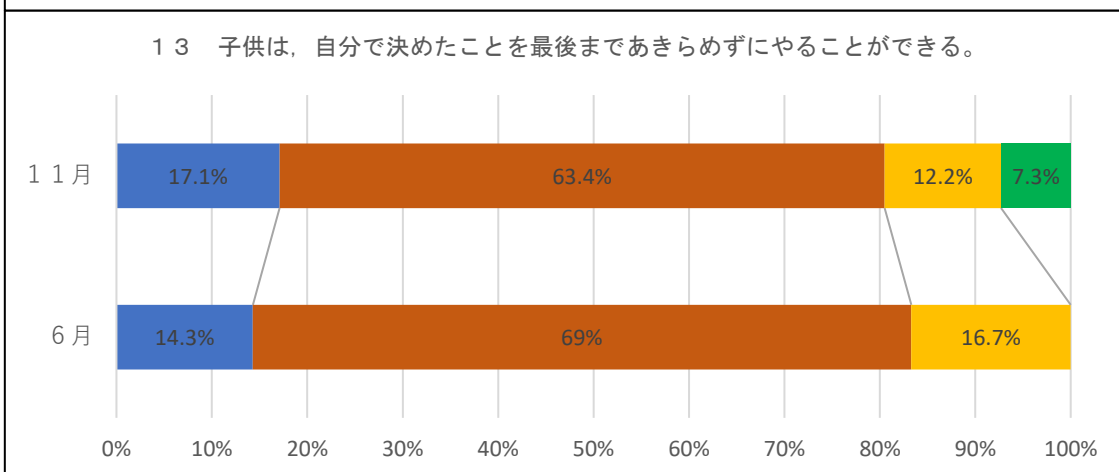
教職員



子供



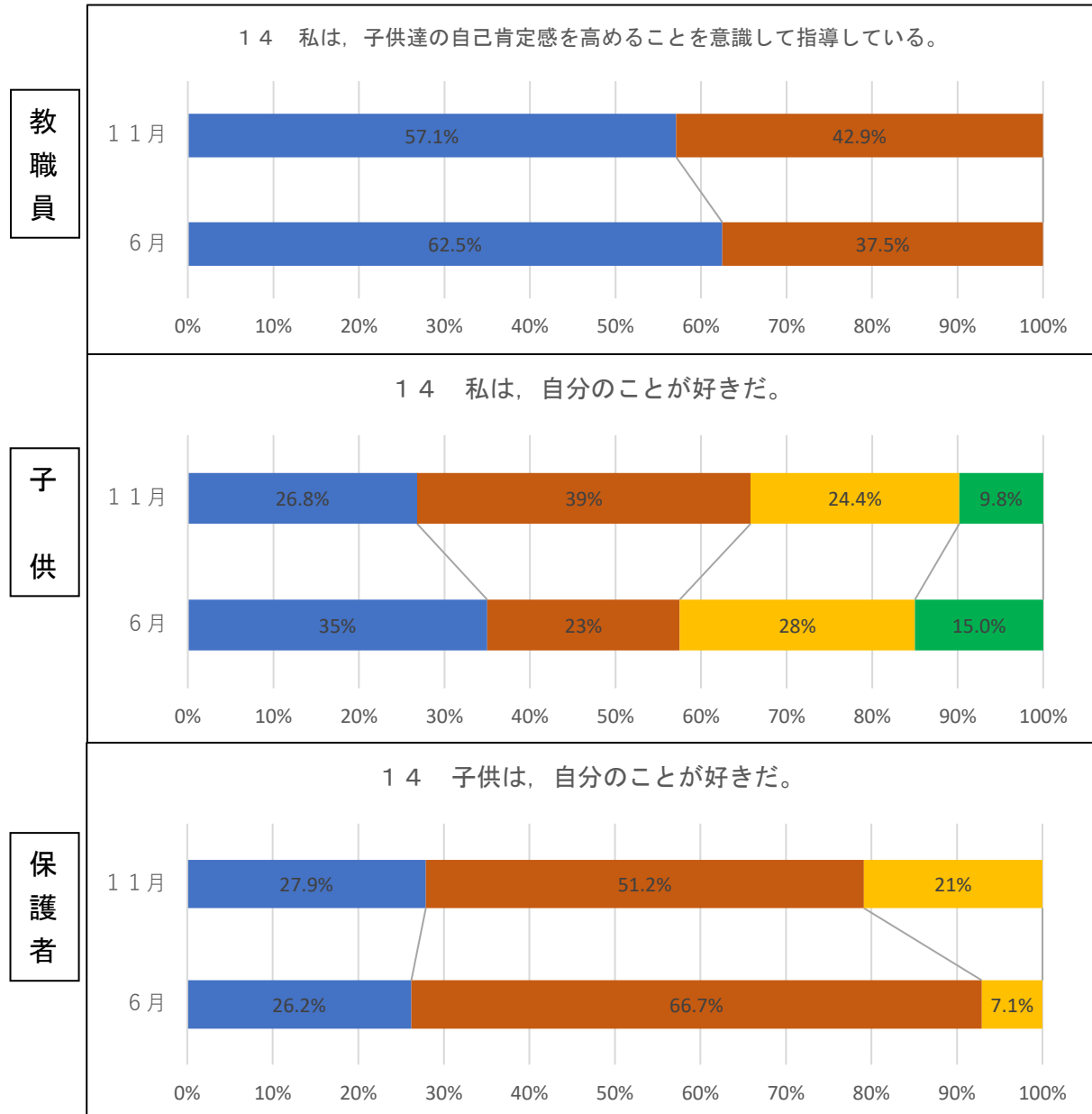
保護者



教職員の肯定的評価は100%であり、子供や保護者も80%以上の肯定的評価をしています。教職員の自己評価も妥当性が高いといえ、保護者の理解と、教職員の普段の取り組みに感謝します。

14 自己肯定感 ★

11月	教職員	子供	保護者
肯定的評価	100%	65.8%	78.1%
否定的評価	0%	34.2%	21.9%



教職員の肯定的評価は100%であるが、子供は6月より増えているものの60%台です。保護者も6月から肯定的評価の割合が減っており、わずかに80%を割っています。

これらのことから、教職員の自己評価と子供、保護者の評価に隔たりがあることを自覚し、今後も、子供の自己肯定感を高めていく指導に工夫・改善を加えていくようにしていきます。

(児童の肯定的評価 42.7%→65.8%, 保護者の肯定的評価 92.9%→79.1%)

15 江川小学校をよりよくするために（自由記述）

教職員

- 教職員も子供達も、余裕がもてるよう活動等を精選する。
- 今取り組んでいる事を一つ一つ行う事だと思う。行事等のその都度の反省がとても大切だと思う。前向きに改善できていると感じる。
- 優しさが広がっていくといいなと思う。そのためには、みんなが穏やかな気持ちにならないとダメなので、どうしたらよいか考え中である。
- 子供にとってつきたい力は何か、そのために何をすべきか、建設的な意見を出し合い、実現に向けて教職員が同一歩調で指導していく。

子供

- もっと地域の人と交流を増やしてほしい。
- 元気なあいさつをする。
- お客さんが来たらあいさつをする。
- 仲良く元気にあいさつできるようにする。そうしたら元気な小学校だと思われると思う。
- みんなで助け合ってみんなで仲良くしたらいいと思う。
- 仲良くする。
- 言葉（遣い）をよくする。（もっと強く呼びかける。）【他、同様8件】
- みんなが優しく丁寧な江川小学校にしたい。【他、同様3件】
- みんなが笑顔で優しくすれば、みんな優しくできる。
- 優しい江川小学校にしたい。
- 笑って生活することで、いい江川小学校が楽しくなると思う。
- 下の学年にやさしくする江川小学校。
- 昼休みが長くなる。
- 人に向けて悪口を言わない。
- 自分たちで考える。
- 廊下を走らない。
- めあてを守る江川小学校にしたい。
- 虫歯のない江川小学校にすること。

※ 子供は、現在の江川小学校の課題をよく理解しており、これからどのような学校にしていきたいか、強い希望を持っていることが感じられます。私たち教職員も、これらの子供の願いにしっかりと向き合い、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりに励んでいきたいと思えます。

保護者

- 投資家，経営者に成るための学習が増えれば良いと思う。
- PTAのみ直しが必要。PTAは絶対に必要なものなのか検討して欲しい。
- プールの時間が少なすぎるように感じた。子供達の体力向上や健康管理の一番の近道は，水泳の時間だと思う。来年度から検討してほしい。
- 今年も野菜作りをしているが，人数も少ないので全校児童で地元の農家さんに協力していただき江川小の畑などをつくり，無農薬で農業を体験して学ぶ事ができたらいい。これから生きていくためには必要だと思う。
- コロナ禍時は，いろいろな事があった。無駄な感染対策や人権侵害，差別，強要があった。今後のパンデミックには2度と同じ事がないようにと思う。未来を担う子供たちの為に，校長はじめ教職員の方には勉強して学んで頂きたい。
- 児童数が少ないので，他の学校との交流や一緒に活動する場面を増やしてもらえたら嬉しい。
- むし歯のない江川小学校にしたい。

※ 貴重なご意見ありがとうございました。今からできることは速やかに実行に移し，次年度の教育計画に盛り込めるものについては，全職員の共通理解のもと，進めていきたいと思えます。